

12 つくる責任  
つかう責任



17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



組合員の産直びん牛乳への思いがこもった56冊のメッセージ集を届けました。

### 牛舎からのライブ配信

(有)ミイケファームから、飼育されている牛の様子や牧草を発酵して作られる飼料について、ライブ配信で紹介されました。

生産者の三池大地さんは、「牛は話せないで、体調が悪くてもなかなか発見できない。いつも牛の体調に気を付け、管理をしっかりしていきたい」と酪農の大変さや管理の大切さを熱く語りました。また、「一番うれしいことは、牛が健康で牛乳を出してくれること。組合員の皆さんには、牛乳を毎日飲んでもらえることに本当に感謝しています」と話しました。



開放的な広い牛舎で、乳牛がストレスなく飼育されています。



牛舎を紹介してくれた(有)ミイケファーム 三池大地さん



グリーンコープ生協ふくおか  
北九州地域理事長  
安部 百々

世界には様々な活動がある。その一つ「推し活」をご存じだろうか?自分が好きになった対象を応援する活動のことだ。我が家の娘達はアイドルの「推し活」に日々勤しんでおり、この活動の中では仲よし姉妹になるので、「推し」たちには感謝しかない。最近、彼女たちからの誘いもあり、私も「推し活」を始めてみたら、これまでの世界が違って見えるように。自分の好きなものを「好き」と伝えられるようになる。友達が増える。小さなことに悩んでいる暇もなくなる。「推し」はアイドルである必要はない。「応援したい」と心から思える人やモノ、何だっていい。誰かの「推し」の話を聞くのさえも幸せな気持ちになる、こんなに心の広い私は人生で初めてのような気がする。皆さんも是非「推し活」を始めてみてほしい。

2022年度  
酪農生産者交流会  
タオルとメッセージを  
贈る取り組み

## おいしい産直びん牛乳を飲み続けて 生産者を応援しよう!



産直びん牛乳は、熊本県菊池地域の約20戸の酪農家から届けられる生乳で作られています。グリーンコープでは、産直びん牛乳の生産者へ感謝の思いを伝えるために、毎年2回、生産者と組合員が交流する「酪農生産者交流会」を行っています。2022年11月7日にオンラインで開催した交流会には、生産者や組合員合わせて48人が参加しました。

交流会では、組合員から届けられたタオルやメッセージ集の贈呈も行いました。

### 牛乳を飲み続けることで 安心して生産が続けられる


交流会の冒頭、noni GMO牛乳生産者委員会長の東祐一さんから「皆さんからいただいたタオルは搾乳の時に使い、大変助かっています。今は酪農がとても厳しい状況にあります。組合員の皆さんとのつながりをこれからも大事にしていきたいです」と挨拶がありました。

熊本酪農協同組合連合会の宮本英明さんからは、飼料の高騰により生産コストが急激に上昇し、生産者の経営が非常に厳しくなっていることについて報告がありました。産直びん牛乳を製造している雪印メグミルク(株)の丑沢智さんからは、「生産者が一生懸命愛情を注いで作った生乳を、一滴も無駄にしないよう製造を続けていきたい」と話がありました。

「顔の見える関係がこれからも続くように」グリーンコープ連合会商品おすすめ委員会からは、牛の乳房を清潔に保つために組合員から届けられた18,100枚のタオルと、タオルを洗うせっけん66kgの目録が生産者の代表へ贈呈されました。また、安全でおいしい牛乳が飲みたいという組合員の思いに寄り添って日々努力を重ねている生産者へ、感謝の言葉が詰まったたくさんの応援メッセージ集も贈られました。生産者の水上鷹一さんからは、「これを励みに頑張りたい」とお礼の言葉が述べられました。参加した各生協の組合員は、産直びん牛乳の利用普及の取り組みとして、産直びん牛乳のおいしさや良さを伝える活動について報告しました。


### 各生協の産直びん牛乳利用普及の取り組み

**おokayama**



7月に親子参加型学習会を開催。レンネット実験を行い、産直びん牛乳の「ノンホモ」でモッツアレラチーズ、残ったホエーでパンケーキとミックスジュースを作りました。

**ひろしま**




産直びん牛乳についてのチラシ「みるみるめる」で、なぜタオルが必要なのかを伝え、生産者にタオルとメッセージを贈ろうと広く呼びかけました。

**ふくおか**



タオルとメッセージを贈る取り組みとして、ワークス作成チラシとの連携や、SNSなども活用し今年度はチラシからの定期予約が昨年の4倍となりました。

**おおいた**



おおいと全域に、産直びん牛乳を使ったプリンレシピを載せた「夏休みにプリンを作ろう!!」のチラシや、定期予約チラシを配布しました。定期予約者にはプレゼントと感謝状をお届けしました。

### 2023年7月 シャボン玉月間ポスター募集!

#### せっけん運動ネットワーク

**募集要項**

必ず入れる文字:「させっけんで!自分も地球も輝く未来へ!」  
(2023年7月、キャッチコピー)

サイズ: A3(29.7cm×42cm)サイズの用紙で提出してください。  
色: カラー

※手書き、パソコン制作も可。但し、オリジナル作品のみ。

内容: 「せっけんを使う暮らしの提案」、「水環境保全についての提案」など  
※裏面に住所、氏名、電話番号、所属生協名を明記する

締切り: 2023年3月1日(水) (詳細は所属生協へお問い合わせください)

送り先: 所属生協にお届けください(配達時に手渡または郵送で)

賞金: 3万円(採用作品1点のみ)

### 「産直玉ねぎ産地の災害支援カンパ」にご協力ありがとうございました

かんねつふ 訓子府有機農法研究会

カンパ金合計 **5,771,300円**

2022年6月18日・19日に北海道北見市、美幌町、訓子府町を中心に降った雹や大雨により、北海道の産直玉ねぎ生産者「訓子府有機農法研究会」では、圃場の3分の1に及ぶ甚大な被害が発生しました。

グリーンコープは8月にチラシでカンパを呼びかけ、多くの組合員から支援金が寄せられました。11月16日訓子府有機農法研究会が「ぜひグリーンコープの組合員へ直接お礼を言いたい」と福岡県の本部に来訪され、カンパ金の目録が手渡されました。

